

●子どもまちづくり手引書の作成について

札幌市では、子どもたちがまちづくりの楽しさや必要性について理解を深め、具体的な活動に参加するきっかけとするために、小学校3年生から6年生までの社会科等の授業で活用できる、子ども向けのまちづくり手引書「みんなでまちづくり～ステキな“さっぽろっこ”になろう！！～」を作成しました。

編集に当たっては、新学習指導要領の趣旨に沿った内容とするため、小学校教員の協力を得たほか、子どもたちの学習意欲を高めるため、自分で調べた内容や友達の意見を書き込むことができるページを多くするなどの工夫をしています。また、地域の方にインタビューする際に使用する自己紹介用の「名刺」や、まちづくり活動等を頑張っている方に感謝の気持ちを伝える「賞状」、自分たちで考えたまちづくりをクラス単位で市長に提言するための「提言書」なども作成。

このほか、授業で手引書を積極的に活用してもらうため、その趣旨や章ごとの意図などを掲載した「使用の手引き（教員用）」も併せて作成しています。

この手引書での学習を通して、子どものまちづくりへの参加意識が高まり、将来のまちづくりの担い手として成長してもらえることを期待しています。

1 概要

(1) 規格・作成部数

A4判（カラー・表紙含め48ページ）、33,000部

(2) 内容

第1章 地域を知ろう	・3・4年生の社会で学ぶ「見つめてみようわたしたちのまち」に合わせ、自分たちの住んでいる身近な地域について学習することを想定。
第2章 札幌市を知ろう	・3・4年生の社会で学ぶ「わたしたちの市はどんなところ」に合わせ、札幌市について学習することを想定。
第3章 まちづくりってどんなこと？	・第2章までの学習を踏まえ、地域などで行われているまちづくり活動について学習することを想定。 ・3・4年生の社会で学ぶ「安全なくらしとまちづくり」に合わせ、地域の安全への取組とまちづくりについて学習することを想定。 ・6年生の社会で学ぶ「暮らしと政治を調べてみよう」に合わせ、自治基本条例について学習することを想定。
第4章 みんなで考えるまちづくり	・6年生の社会で学ぶ「暮らしと政治を調べてみよう」に合わせ、自治基本条例を例に「市民」「行政」「議会」の関係について学習することを想定。 ・これまでの学習を踏まえ、自分たちで出来るまちづくり活動について学習することを想定。

(3) その他

手引書を活用した学習の際に使用する「名刺」「賞状」「提言書」「シール」や教員向けに「使用の手引き」を作成。

2 編集に当たったの取り組み

小学校教員7人に協力いただき、書き込み式のページを多くしたほか、「名刺」や「シール」等を用意するなど、子どもが興味を持って学習することができるようにするためのアイデアを多数取り入れました。

3 活用方法

(1) 小学校への配布

市内の全小学校 209 校（市立 207 校、国立 1 校、私立 1 校）に配布

【内訳】

- ・子ども向けまちづくり手引書：小学 3 年生全員（約 1 万 5 千人）に配布
- ・使用の手引き：小学 3 年生を担当する教員（約 600 人）に配布
- ・ツール：小学 3 年生の全クラス（約 600 クラス）に配布

名 刺：子ども 1 人に 2 枚程度配布。

賞 状：子ども 1 人に 1 枚配布。

提言書：1 クラスに 1 枚配布。（6 年生での使用を想定。）

シール：1 クラスに 1 シート（200 枚）配布。

(2) ホームページへの掲載

市民自治推進室のホームページ「市民自治の推進」(<http://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/kihon/torikumi/child>) に 15 日から掲載します。

問い合わせ先

市民まちづくり局市民自治推進室市民自治推進課

電話 211-2253